

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 <small>じょうえつうおぬま</small> 上越魚沼地域振興快速道路 一般国道253号 <small>はつかがとうげどうろ</small> 八箇峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県十日町市八箇 <small>とおかまち はつか</small> 至：新潟県南魚沼市余川 <small>みなみうおぬま よかわ</small>	延長	9.7km		
事業概要 ：					
国道253号は十日町市と南魚沼市の山地部を通過する重要な幹線道路である。しかしながら、大雨による事前通行規制や雪崩等による通行止めが発生しており、大幅な迂回が強いられている。また、急カーブ・急勾配区間が存在するため、冬期は登坂不能車による交通障害が生じている。これらの状況により地域経済や日常生活に大きく影響を与え、安心・安全面で不安が生じている。 国道253号八箇峠道路は、上越市と南魚沼市を結ぶ地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」の一部を構成し、「通行規制区間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害の解消」や「十日町生活圏・南魚沼生活圏の地域の活性化の支援・一体的な圏域形成」、「地域の発展」等を目的とした延長9.7kmの直轄権限代行による改築事業である。					
H12年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H13年度用地着手	
H12年度工事着手					
全体事業費	約418億円	事業進捗率	50%	供用済延長	0km
地域の防災面の課題 ：					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 八箇峠道路に対応する現道区間は、十日町地域と南魚沼地域の中心都市を結ぶ主要幹線道路であるが、連続雨量60mmで通行止めとなる区間が2区間（8.6km）存在 ・ 豪雨・雪による通行止めがあると大幅な迂回が強いられている。（過去10年 全面通行止め12回） ・ 通行止めによる、物流支援・観光客のアクセスなど地域経済に影響 ・ 地域住民の通勤・通学・バスなど日常生活に影響 ・ 十日町市・南魚沼市からも、災害に強い安全・安心な地域造りを目指す上で最重要路線として、早期に全線開通の要望が出されているなど、喫緊の課題となっている。 					
課題を踏まえた対策・事業内容 ：					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通行規制区間の解消、縦断勾配8%以上の急勾配区間（2.4km）、線形の悪い隘路区間や冬期の堆雪による幅員狭小を解消するため、別線整備による抜本的な対策を実施。 					
事業の効果等 ：				費用 ：	
○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 （147.3億円（残事業=147.3億円）） ○災害による被害の回避 ・ 通行止めによる営業停止損失（18億円） ・ 被害額の減少（1.6億円） ・ 通行止めによる観光入込客減少（22億円） ・ 救急医療機関アクセス向上（0.3億円） ・ 通行止めによる高速バス運休損失（0.04億円） ○地域住民の不安解消 ・ 不安感の解消（通行止めによる迂回の不安等）				（残事業）/（事業全体） 146.8/394 億円 （事業費： 143/390 億円 維持管理費： 3.7/3.7 億円）	
関係する地方公共団体等の意見 ：					
地震・豪雪と度重なる災害を経験した本市においては、魚沼生活圏域における緊急時の輸送道路として、国道253号は、災害に強い、安全・安心な地域づくりを目指すうえで最重要路線として確保しなければならない路線であるため、早期に全線開通を望んでいる。					
県知事の意見					
・ 地域住民の安全・安心の確保や沿線地域の振興のため、事業を継続する必要がある。 ただし、事業を進めるにあたっては、県や市町村をはじめとした地元との調整を十分に行い、地元の意向を十分に反映させるべきである。					
事業評価監視委員会の意見 ：					
・ 審議した結果、再評価及び対応方針（原案）の「事業継続」は妥当である。					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等.....

平成17年までの市町村合併により新たな十日町市、南魚沼市となり、当該事業は新市の地域高規格道路として、広域幹線ネットワークの強化、信頼性の向上が期待される。また、当該地域では地域医療の高度化に向けて第三次救急医療施設「魚沼基幹病院（仮称）」の平成27年開院を目指している。

事業の進捗状況、残事業の内容等.....

事業の進捗状況：平成22年度までの投資額208億円。進捗率50%
 残事業の内容：用地未買収区間の用地買収と埋蔵文化財の調査、及び全線の工事。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等.....

八箇IC（仮称）～野田IC（仮称）までは全面展開で工事中であり、早期供用を目指している。また、関越自動車道交差部～終点の用地買収を進め、野田IC（仮称）～終点までの供用を目指している。

施設の構造や工法の変更等.....

- ・起点から八箇IC（仮称）間について、現道活用に見直し22億円の事業費の削減を図る。
- ・トンネル掘削を通年施工にすることにより冬期休止にかかる費用0.6億円の削減を図る。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由.....

事業の必要性は変化なく、緊急に対策を実施する必要があるため。

事業概要図.....



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。